

### 第3回 三豊市就学前教育・保育検討委員会 会議録

日 時	令和元年9月30日(月) 午後2時00分～午後4時00分
場 所	三豊市危機管理センター201・202 会議室
出席者	<p>【三豊市就学前教育・保育検討委員会委員】15名          松井 剛太(委員長)、常田 美穂(副委員長)、則久 郁代、佐久良 恵都子、          島田 雅子、石川 眞弓、安藤 紳一、友枝 洋規、田井 清、藤井 香織、          吉田 麻有実、平尾 太一、平尾 俊文、三木 緑、田尾 和人(敬称略・順不同)</p> <p>【事務局関係職員】12名          健康福祉部 滝口部長          保育幼稚園課 藤田課長、多田GL、松岡、富田、大西、関、白川          教育委員会事務局 岩本部長          教育総務課 豊島課長          学校教育課 山下課長、松岡</p>
欠席者	0名
傍聴者	0名
会議次第	1. あいさつ 2. 議事 (1) 就学前教育・保育のあり方検討(グループワーク) 3. その他
<b>会 議 概 要</b>	
開 会	
事務局	<p>本日はご多忙の中、第3回三豊市就学前教育・保育検討委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議は、藤井委員から少し遅れるという連絡がございましたが、委員15名に対して現在14名のご出席をいただいております。三豊市就学前教育・保育検討委員会設置条例第6条第2項の規定により、会議が成立することをご報告いたします。</p>
1. あいさつ	
委員長	<p>第3回目の会議にご出席いただき、ありがとうございます。本日はグループワークということで、席の配置も3グループに分かれております。</p> <p>それぞれのグループのテーマに沿って楽しみながら、三豊市の将来を考えていただければ良いのかなと思います。活発な意見交換をお願いしたいと思います。</p>
2. 議事	
(1) 就学前教育・保育のあり方検討(グループワーク)	
委員長	<p>議事に入らせていただきます。まず、「就学前教育・保育のあり方検討(グループワーク)」について、事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	<p>&lt;就学前教育・保育のあり方検討（グループワーク）&gt;</p> <p>◆資料①【就学前教育・保育のあり方検討（グループワーク）、◆別紙資料【ななつのたから】により、以下を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに設定したテーマに沿ってグループワークの進め方を説明。</li> <li>グループ①：質の向上に向けた連携・交流・研修体制等について</li> <li>グループ②：公立幼稚園・公立保育所の適正規模・適正配置（通園・通所区域）等について</li> <li>グループ③：保育体制の拡充・認定こども園化・公立保育所の民営化等について</li> </ul> <p>・別添資料「ななつのたから」の考え方を紹介することで、本日のグループワークにおいて、就学前教育・保育を検討する参考としていただきたい。</p>
委員長	<p>ただいま事務局から資料に基づいて、「ななつのたから」とグループワークのテーマ、進め方について説明がありました。現時点で何かご質問はありますか？</p> <p>ないようですので、さっそく各グループでグループワークに入りたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>（各グループに分かれてグループワークを実施）</p>
事務局	<p>では、約1時間が経過したので、ご検討いただいた意見等を発表していただきたい。</p>
グループ③	<p><u>保育体制の拡充・認定こども園化・公立保育所の民営化等について</u></p> <p>なぜ幼稚園よりも保育所が選ばれているのかという問題について、夏休みの給食提供の問題が1点、それと保育時間が幼稚園よりも保育所が長いということがその要因ではないかということになった。また、以前は保育所から幼稚園、その後、小学校へ上がるという意識が強かったが、現在はそういった意識が薄れているのではないかという意見があり、幼稚園、保育所に対する意識は、町ごとに異なるのではないかという意見もあった。</p> <p>預かり保育については、現在、3歳児の預かり保育を実施していない園もあり、全園で実施する方が良いという意見があった。また、公立保育所の保育年齢は現在8ヶ月からであるが、全園でなくても、もう少し低年齢児の受け入れができる体制があれば良いという意見があった。</p> <p>保育時間については、現在、公立保育所で土曜保育（半日実施）を行っているが、半日ではなく1日実施できれば良いという意見があった。</p> <p>認定こども園化については、制度ありきではなく、質が大切であるという意見があった。また、民営化という話題については、公立と民営の差はなくなってきているという意見があった。</p> <p>山本保育所については、2歳児までが保育所、3歳児～5歳児が幼稚園（認定こ</p>

	<p>ども園)となるが、保育所が民間委託となれば連続した保育ということが難しくなるため、保育所も公立の方が望ましいという意見があった。</p> <p>民間委託をする場合、運営事業者の選定が重要であり、保育の内容が保護者に分かるような方法を考えて欲しいという意見があった。</p> <p><u>グループ② 公立幼稚園・公立保育所の適正規模・適正配置(通園・通所区域)等について</u></p> <p>小規模幼稚園について、人口が増えなければ子どもも増えないということから、人口を増やすための施策、地域産業の核になるようなものを作って人を呼び込むことができれば良いという意見があった。また、都会からの移住者もあり、そうした移住者に対して温かく迎え入れる気質があれば良いという意見もあった。</p> <p>大規模幼稚園については、メリットとしては集団生活が可能ということが挙げられた。ただし、豊中地区を考えれば、幼稚園は1つで、小学校は5校に分散し、中学校でまた1つになるという状況があり、「小学校が5つに分かれることは、子どもたちには寂しいのではないか」という意見と、「そんな環境でも子どもたちは適応してくれている」という意見があった。</p> <p>大規模保育所については、今後、新たな保育施設が出来るため、規模的には分散すると考えられ、また、同年齢間の交流が重要であるという意見があった。</p> <p>適正規模については、施設の規模という意味合いが強いが、適正な集団規模(例えば3歳児であれば15人程度、4歳児であれば20人程度といった適正な集団規模)から考えた適正な施設規模が重要であるという意見があった。</p> <p>また、幼稚園の保育サービスの向上が必要であるという意見もあった。そうすることで、大規模保育所から幼稚園への子どもの移動も起き、適正な規模を保てるようになるのではないかという意見があった。</p> <p>小学校に隣接した0歳児から5歳児まで対応できる認定こども園を作れば、子どもたちは分散することなく小学校に進学することができるという意見もあった。</p>
<p><u>グループ①</u></p>	<p><u>質の向上に向けた連携・交流・研修体制等について</u></p> <p>子ども同士、職員同士の交流・連携については、現状として、公立幼稚園と公立保育所の職員交流は研修などを通して行われているが、民間事業者との交流はできていない。日常的に幼稚園、保育所の交流は近隣であれば行っているケースもあるが、距離が離れている他地区の幼稚園、保育所の場合は難しいという意見があった。</p> <p>現在、公立幼稚園、公立保育所では園長会、所長会を実施しており、その場に民間事業者の園長、所長にも参加してもらうことが重要であるという意見があった。</p> <p>また、既存の研修だけではなく、新たな研修の場を設けることで、民間保育所等が参加しやすい環境を作れるのではないかという意見もあった。その際に、強制的なものではなく参加しやすい研修にすること、評価が可能であることが重要であるという意見もあった。</p> <p>また、様々な指針、危機管理マニュアル等の作成にあたっては、公立と民間の園</p>

	<p>長、所長がともに作成にあたるということが重要であり、そういった交流の場を行政が主導で提供する必要があるという意見があった。</p> <p>小学校との連携については、職員間でカリキュラムの相互交換を行うことで、双方がどういった教育・保育を行っているのかを理解する必要があるという意見があった。次に、まず職員が学校訪問、幼稚園・保育所訪問を行い、お互いを理解することが重要という意見があった。その上で、子ども同士の交流を行うことが良いのではないかという意見があった。</p> <p>就学前教育保育方針・食育方針については、「ななつのたから」は公立施設のメンバーのみで作成したものであり、作成から数年経過していることもあり、見直しの時期にあるのではないかという意見があった。見直しにあたっては、公立、民間のメンバーがともに検討する必要があるという意見があった。また、小学校教諭は「ななつのたから」を知らないので、小学校にも配布して知ってもらう必要があるという意見があった。</p> <p>食育については、三豊市独自の食育方針を作成する必要があるという意見があった。</p>
委員長	<p>発表内容について、何かご質問、ご意見はございますか？</p>
A委員	<p>公立・民間を問わず、教諭同士の交流・連携は非常に重要だと思う。1日体験研修といった形で職場体験を行うなどすれば、実感として、他の幼稚園、保育所が何を行っているかが分かる。そうした場を設定することは、自分たちの教育・保育の質を向上させるための手助けになると思う。</p> <p>また、現在、三豊市からの声かけで研修に参加する機会が増えてきた。公立・民間の枠ではなく、教育・保育に携わる者として研修の場に参加できることは嬉しく思う。公立・民間という垣根が取り払われつつあるのではないかと感じている。</p>
委員長	<p>他にご質問、ご意見はございますか？</p>
B委員	<p>保育施設の入所選考が重要だと思う。例えば、A保育所に通っていて親も子ども先生にも慣れ、友達もできて環境が整ってきたところで、翌年度の選考でA保育所に入所できず、B保育所に行ってくださいというケースもある。制度上のことと実際の子どもの環境は異なると思うので、利用者の現状を考慮して、入所選考を行って欲しいと思う。</p>
委員長	<p>他にご質問、ご意見はございますか？ないようでしたら、本日の議事は以上とします。本日提出された意見等を整理し、今後の計画素案等に反映していただくようお願いいたします。</p>

3. その他	
事務局	<p>&lt;事務連絡&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は 11 月後半を予定。正式な案内は後日送付する。</li> </ul>
滝口部長	<p>本日は長時間ご議論いただき、誠にありがとうございました。委員会の中でグループワークを行うということは珍しいかもしれませんが、頂いた貴重なご意見を計画の中に反映させて、より良い計画を作成していきたいと思っております。本日はありがとうございました。</p>
閉 会	
事務局	<p>それでは、以上をもちまして、本日の委員会を終了させていただきます。今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。</p>